

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞
KANAKAKEI

障がい者雇用の可能性 先進企業招き講演会

工業部会GETプロジェクト(豊岡淳委員長)は11月1日、産業会館で経営セミナー「多様な『人材』を活かす!」を開催。ダイバーシティ経営で成果を上げている川田製作所(小田原市)の川田俊介副社長を講師に招き「良い雇用の場を作る」ためのヒントを学んだ。

講演した川田製作所は、「新・ダイバーシティ経営企業100選(経済産業省)」に選出されており、障がい者、高齢者、外国人などの雇用を積極的に進めている。



講演する川田副社長

人員拡充を迫られ、発達障がいを持つ方を採用したこと。以来、試行錯誤を繰り返しながら障がいを「個性」としてとらえ、得意なことを「強み」として伸ばし、弱みを支えあう風土を醸成。今では同社にとつて障がい者従業員は欠かせない戦力になっているという。



熱心に聞き入る参加者

「良い雇用の場」を作ることには軸を置きさまざまな活動を推進し進める川田副社長の取り組みに対し、参加者からは多くの質問が寄せられ、大変活況なセミナーとなった。

企業視察 ボロボロから 市内学生 青学

相模原市と相模原商工会議所は21日、工業系学生を対象とした「導入支援施設&導入企業視察コース」を開催。市内にキャンパスがある青山学院大学のほか、新日本学院から22人が参加した。同視察会は、先に市が採択された出展した「ワールド・ロボット・サミット」での地域展示の一環。「ロボット先進都市さきみはら」の魅力を体感してもらおうと狙いだ。視察先はロボットと協調した生産性向上を推進するパパス(相模原市中央区田名3312)と相模

「先進都市さきみはら」PR

原市のロボット事業の中心を担うパパスがみはらロボット導入支援センター。パパスでは工場内ロボットが活躍する現場を体感した後、導入企業・Sier企業双方から導入のねらいについての説明が行われた。



高い関心を示した参加者たち

「高い関心を示した参加者たち」といった前向きな声も聞かれ、市内への就職意欲向上につながる見学会となった。

開催された「ワールド・ロボット・サミット2018」(経済産業省など主催)の競技会に、相模原市内の8社と玉川大学工学部・岡田研究室で構成される「TeamSAGA GAMIHARA」が出場。「ものづくり」の競技にエントリーした。出場チームの半数を海外勢が占めた中、相模原の産学連携チームは健闘を見せた。

競技会「ワールド・ロボット・チャレンジ(WRC)」は、4つのカテゴリ(ものづくり、サードピス、インフラ・災害対応、ジュニア)で計9種目あり、国内外から134チームが出場。このうち相模原チームが出場したのは「ものづくり」の競技。ロボットシステムを迅速に無駄なく立ち

チーム「WRC」出場し健闘

10月17日からの5日間、東京ビッグサイトで

「市場には類似品も出回っていますが、こちらは製品の品質と安心・安全で勝負します」(横江社長)としている。段ボール本体に加え、強化ビニール袋10枚、凝固剤5袋、結束バンド5本が付いてキットとして販売する。

価格は4980円(税別)。4人家族の場合、同キットで5日分の排泄に対応できる。初年度1000セットの販売を計画する。



新製品を手にする横江社長

非常用トイレ開発 段ボール製で保管容易

旭フオーク建設機械販売・レンタルの旭フオークリフト(中央区田名)は、段ボール製造販売の東鈴紙器(同市中央区小町通)との異業種連携により、非常用トイレキットを開発した。「メイド・イン・相模原の意地を見せました」(横江利夫社長)という同製品は、段ボール製ながら耐荷重300キ

株式会社
イノウエ
かながわ中小企業モデル工場指定

90年の歴史が誇る
ヘアゴムと組みひも

ヘアゴム加工 ホームページ

ヘッドバンド
プリント
パーツ付け

エコテックス
3歳未満での乳幼児用繊維製品の認証。小さなお子様にも安心してお使いいただけるように素材そのものからこだわって作っております。

自社一貫製造
作成から、品質検査、パッケージ梱包までを会社内で行うことで品質と安全性を確立。お客様のご要望に素早く、丁寧な対応を可能としております。

お気軽にお問い合わせください
TEL(042)785-0136(代)
電話受付時間▶9:30~12:00,13:00~16:00